

**C 消費生活・金融トラブル防止に関する分野**

分野目標	年齢層別目標			年齢層別目標	
	小学生			中学生	高校生
	低学年	中学年	高学年		
<b>C 消費生活・金融トラブル防止に関する分野</b> <b>ア 自立した消費者</b> 消費者の権利と責任について理解し、それを生かす態度を身に付ける 自立した消費者として行動するための基礎知識と態度を身に付ける 消費生活に関する情報を収集し適切に活用することができる技能を身に付ける			○買い物の仕組みと消費者の役割が分かる（家庭）	○消費者基本法について理解し、消費者の権利や責任について知り、日常生活に生かす態度を身に付ける（社会<公民的分野>、技術・家庭<家庭分野>）	○消費者契約法について理解する（公民、家庭、商業） ○消費者の権利と責任を自覚して行動する態度を身に付ける（家庭） ○消費者保護の重要性について、情報の非対称性の観点から理解する（公民、家庭） ○個人情報の保護について理解し、個人情報の保護にかかわる問題について関心をもつ（情報）
	○目的を考えてものを選ぶことができる	○目的や価格を考えてものを選んで買うことができる ○安全や環境に配慮した消費生活の大切さに気付く	○ものの選び方、買い方を考え、適切に購入する能力を身に付ける（家庭） ○売買契約の基礎を理解する（家庭） ○安全や環境に配慮した消費生活の大切さを理解し、工夫する（社会、家庭）	○売買契約の仕組みや契約を守ることの重要性を理解する（社会<公民的分野>、技術・家庭<家庭分野>） ○製造物責任について理解し、商品の購入・使用の際に生かす態度を身に付ける（社会<公民的分野>） ○環境や社会に配慮した消費生活ができる（社会<公民的分野>、理科、技術・家庭<家庭分野>、道徳）	○契約の意味と留意点および契約に伴う責任について理解し、内容をよく確認して契約する態度を身に付ける（公民、家庭） ○成年年齢に達することの契約における意味を理解する（公民、家庭） ○契約に伴う手数料の負担について理解する ○環境や社会に配慮した生活が営めるようにライフスタイルを工夫する（公民、家庭）
			○消費生活に関する情報を活用し、比較・選択する力を身に付ける（社会、家庭）	○消費生活に関する情報を活用し、比較・選択する力を身に付ける（技術・家庭<家庭分野>）	○情報通信技術等を活用して、情報を収集し、自分の消費生活に活用できる技能を身に付ける（家庭）
<b>イ 金融トラブル・多重債務</b> 消費者問題の発生する背景について理解し、お金との付き合い方について日頃から考える態度を身に付ける 金融トラブルや多重債務の実態を知り、巻き込まれない態度を身に付ける 法律や制度を知り、それらを活用して事態に対処できる知識と技能を身に付ける			○お金のトラブルは家族に迷惑をかけることを知り、気を付けるようにする	○社会で起きる事件や犯罪とお金との関連について考える態度を身に付ける	○契約や消費者信用などに関する消費者問題が生じる背景について理解し、問題の発生を回避する態度を身に付ける（公民、家庭）
		○子ども同士でお金の貸し借りはしないようにする	○小学生が巻き込まれる金融トラブルの実態について知り、注意する ○インターネット、携帯電話による小学生のトラブル事例を学び、予防の仕方を理解し、適切に行動する態度を身に付ける	○クレジットカードの使用上の留意点を理解し、適切に行動する態度を身に付ける（技術・家庭<家庭分野>） ○インターネット、携帯電話によるトラブル事例を学び、予防の仕方を理解し、適切に行動する態度を身に付ける（技術・家庭<技術分野>、技術・家庭<家庭分野>） ○悪質商法や詐欺的商法を見分け、被害に遭わないようにする（技術・家庭<家庭分野>） ○金利計算能力を身に付け、金利負担について理解し、適切に行動する態度を身に付ける	○各種カードの役割や機能と使用上の留意点を理解し、適切に行動する態度を身に付ける（家庭） ○インターネット、携帯電話などによるトラブル事例を学び、予防の仕方を理解し、適切に行動する態度を身に付ける（家庭） ○ローンの金利とローン返済額との関係および金利負担について具体例を通して理解し、適切に行動する態度を身に付ける ○多重債務の現状を知り、安易な借入れを避ける（家庭） ○借入れに当たっては、生活設計の中で返済可能かどうか確認する必要があることを理解する
		○困ったときにはすぐに身近な人に相談する態度を身に付ける	○消費生活センターの役割や連絡先、困ったときに消費生活センターに相談できることを知る（家庭）	○クーリング・オフの制度とその行使の方法を知る（技術・家庭<家庭分野>） ○トラブルに遭ったときの相談窓口、必要に応じて連絡する方法を身に付ける（技術・家庭<家庭分野>）	○消費者トラブルや労働条件などに関するトラブルに対処できる具体的方法を学び、実際に行使できる技能を身に付ける（公民、家庭） ○消費者トラブル、多重債務の相談窓口などを調べて、相談できる（公民、家庭）